

# 短期認定留学 体験談

派遣先：ハワイ大学マノア校 アウトリーチカレッジ  
外国語学部英米学科 中園五月

## 1. 短期認定留学を申し込んだ動機

私がこのプログラムに申し込んだ動機は、コミュニケーション能力の向上を図ると共に、生きた異文化に触れたいと思ったからである。学科で英語を専攻してはいるものの、日常で英語を使う機会は日本では少ない。また、将来英語を使った仕事に就きたいと考えており、そのために生きた英語、違う価値観に触れておくことは大切だと考えていた。また、ハワイを選んだ理由は、ハワイは日本と異なり多民族国家であるためである。ハワイ古来の文化を学ぶことはもちろんのこと、多様な文化の共生を目にするには適した場所だと感じ留学を決めた。

## 2. 現地での語学コースについて

○参加したクラスレベル：High Intermediate Level

### ○コース内容

このハワイ大学マノア校の New Intensive Course in English (NICE プログラム)は、本来ならば三週間あり 3月20日に修了式等が開催予定だったがコロナの影響で中止となった。学習内容としては英会話を中心に一日午後12時30分から16時20分まで勉強を行った。コロナの影響で参加人数は少なく、参加者は全員日本人であり、全体で約20人、1クラス10人前後であった。今から週ごとに活動内容を分けて述べていきたい。

### 〈第1週目〉3月2日～8日

初日は先生の紹介やプログラムの説明、危機管理対策等についてオリエンテーションがあり、その後一人10分ずつ口頭での質問からなるテストを受けて終わった。また先生から簡単な校内の施設の紹介をして頂いた。翌日にクラスに分かれ、私は中級のクラスに配属された。初週は自分の性格や好きなもの等、またはお題に応じたものをクラスメイトに時間制限の中で説明をしたり、アメリカのイディオム、性格を表す語彙について学んだりした。また洋楽を使ってイディオムを勉強したり、ハワイ大学の学生とお題に沿って意見を述べたり聞きあったりした。他にもハワイ大学の学生に性格や好きなことは何か、また習ったイディオムを実際にはどんな風にするのかな



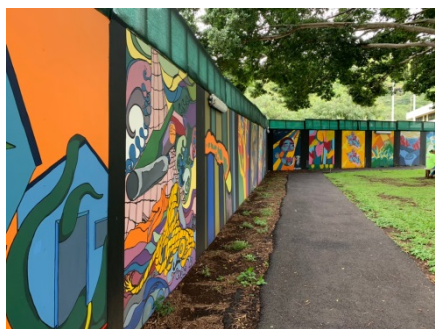
どを数人グループになり聞いて調査した。土曜日は任意ではあったがハワイのオアフ島東端にあるマカプウ岬に皆でハイキングを行った。強風ではあったがハイキングと景色を両方楽しむことができた。

#### 〈第2週目〉3月9日～13日

月曜日はクラス別の課外活動で私たちは真珠湾を訪問した。現地の資料館で実際の戦争の様子を映像で見たり、船で日本の攻撃により海に沈んだアメリカの軍艦を見学したりした。火曜日以降は自分についてのプレゼンの準備や発表を行った。またアメリカのイディオム、洋楽、ハワイ大学の学生との勉強も一週目同様に行った。また、ハワイの伝統的なゲームを3種類学び、班に分かれてやり方を理解した後実践し他の人に教えたり、他のゲームについても学んだりした。その後別のクラスの人と合流し自分たちのクラスはゲームを教えたり他のクラスの人からはハワイ語を教えてもらったりしてみんなで学びあった。またワークショップでネイティブのハワイ人の方にフラダンスを教えてもらい、手足の動かし方や振りつけを学び、ハワイ語からなる唄にのせて実際に踊った。木曜日の午前中はジュラシックパークの舞台にも描かれた森のあるマノアの滝を課外活動として見に行く予定だったが前日の大雨で中止、土曜日の課外活動で参加予定だったクジラウォッチングもコロナの影響でキャンセルとなった。

#### 〈第3週目〉3月16日～19日

月曜日はクラスの課外活動で日本の企業日立のCMでも使用されている巨木のある観光名所、モアナルナガーデンに出向いた。火曜日はハワイの歴史に関することを班でそれぞれ調べまとめ、水曜日に私はフラダンスについて班の人とプレゼンを英語で行った。また前週と同じく大学の在學生と題に沿って英語で意見交流を行ったり、最終日は洋楽を通してアメリカのスラングを学んだりした。本来なら3月20日（金）に修了式が他のプログラムの留学生等とも合同で行われる予定だったがコロナの影響で中止となり、前日の木曜日の授業終了後に修了証がそれぞれ配布されプログラム終了となった。



### 3. ホームステイ先について

私の滞在先は、韓国系のホストマザーとその母、ドイツ系のホストファザー、中学3

年生と小学校 6 年生の子どもさんの 5 人からなるご家庭だった。他にドイツ人のハワイにある別の大学に通う留学生と、偶然にも同じプログラムに参加する他県の日本人の留学生と共同で過ごした。

学校までの交通アクセスは、家から大学まで約 40 分程であり、他のプログラム参加者より遠い方ではあったが、学校が午後から開始であったため遅刻等はなかった。

滞在先の雰囲気はさっぱりとしており、留学生が快適に過ごせるように色々と配慮をしていただいた。食事面においては、ハワイは物価が高いため経済面を考慮し夜ご飯の残りをランチに持たせてくれたり、生活面においても、ハワイの名所や土地ごとの特色を教え車で観光案内をしてくれたり、学校までの交通アクセスについてもケアしてくれたりした。

家族のルールとしては特になかったが、帰宅時間だけは伝えるようにした。

平日、休日の過ごし方は、平日は学校が夕方終わるため帰宅が遅くならないように早めに帰るようにし、帰宅後は学校からの課題に取り組んだ。休日は主に観光地に出かけたり買い物をしたりした。

ほか、滞在先ではできるだけ積極的にコミュニケーションし、日本人の留学生とも家では英語を極力話すように心がけた。特に困ったこともなく快適に生活をおくることができた。



#### 4. 現地での生活全般

##### 【気候】

私が留学した 3 月は丁度雨季であり、降ったり止んだりが多く、降りだすと豪雨のようになることもしばしばあった。しかし日本ほど湿度は高くなくからっとしており過ごしやすくはあった。

##### 【交通アクセス】

移動手段はすべてバスを使った。そのため一ヶ月分の定期券を学校で購入した。バスが遅れてくるが多かったため、どこかに行く際は時間に余裕をもって動くようにした。

##### 【ショッピング】

買い物においては現金払いとカード払いの両方ができるようにデビットカードを持参した。カードを使える店が多かったものの、中には現金払いのみの店もあったため、現金を少しおろしておくようにした。また外食する際は、ハワイは物価が高いのと量が多いものあり友人と割り勘で一つのをシェアすることが多かった。

#### 【観光地や街の様子】

3月初めはアメリカでコロナがあまり流行しておらず、ハワイも観光地のため大勢の人であふれかえっていた。特にワイキキなどのビーチやアラモアナなどのショッピングセンターでは日本人も多く見かけた。初めはマスクをはめている人も全くおらず、コロナの影も感じられなかったが、ハワイにも感染者が出始めると店を閉めるところが多くなり、帰国する頃には人通りもまばらであった。店だけではなく山や海まで規制がかかり、入れなくなるほど徹底されており、観光を楽しめる状態ではなかったが、国や国民を守るには当然の対応であるように感じた。

#### 【他留学生/スタッフ】

私のクラスには国際系の大学から参加している人が多く、英語を使ったコミュニケーションに長けている人が多い印象を受けた。クラスの先生も明るく、英語だけでなく課外活動においても色々詳しく説明してくれ、よりハワイを理解することができた。

#### 【携帯/Wi-Fi】

携帯が海外SIMカードに対応していなかったためWi-Fiを持参した。店や大学等ではFree Wi-Fiが使用できたものの、家から学校や市街地に距離があったため使用頻度は高かった。

#### 5. 短期認定留学をして学んだこと、得たもの、気づき等

今回の留学を通して、改めてコミュニケーションを取ることの大切さを学びました。もちろん、文法を正しく理解し、単語を正しく書いたり発音したりできるようになるのは重要である。しかし授業や生活を通し、自分の思いや考えを口にする事で思いは初めて相手に伝わることを再度実感した。「言わないと伝わらない」というのは当たり前のことであると思うが、これまでは日本の空気で察する慣習も影響してか、日本では家族や友人などに対し「言わなくても分かってくれるだろう」と思う節もしばしばあった。だが留学生活で、英語で進んで意思表示をしない限り自分が困っていることなど改善はしないし、感謝の気持ちを伝えるにしても、自分が何に対してどの程度感謝しているのか、ただ「Thank you」というだけではよく伝わらないように感じた。これまでのように雰囲気相手の心情を察するという事はあくまでも推測であり、

相手の本当の思いなどは決して分かりえないように思う。もちろん文化等の違いもあると思うが、今回学んだことを今後の生活に反映していきたい。

#### 6. 短期認定留学プログラム全体に対する感想、反省

三週間と短めではあったが、自分の英語力を試し、異文化に触れるには丁度良い長さのプログラムであったように思う。しかし英語につまずくこともあったため、留学前にもっと単語力をつけていればと思うことも多々あった。ただ分からない時は先生が英語で言い換えて教えてくれたほか、授業を通し英語の表現の幅の広さも学ぶことができ、リラックスした雰囲気の中で授業を受けることができたので良かった。

#### 7. 現地に持参した方がいいもの、持参の必要がなかったもの

##### 【持参◎】

雨具 日焼け止め サングラス サンドル 帽子 羽織もの エコバック  
ドライヤー Wi-fi 又は海外 SIM カード

・3月は雨季のため、特に折り畳み傘は持参することをお勧めする。また、日差しが強いので日焼け対策ができるようにしたり、バスや教室の中は冷房が効いているので羽織もの等を用意した方が良い。また、ハワイでは日本のように買い物時に袋がついてこない店もあるので、エコバックなど袋を用意しておくとうまいと感じた。

##### 【持参×】

・特になし（しかし動き回ることが多いため、服装はスカートよりもズボンを多めに持っていく方がよいと感じた。）

#### 8. 休暇のプランの立て方や行った場所について

##### 【休暇のプランの立て方】

観光地や有名店を事前に調べたり、ハワイ大学のスタッフやホストファミリーなどにお勧めの場所を聞く等して行先を決めた。

##### 【行先】

- ・マカプー岬
- ・ドールプランテーション
- ・イオラニパレス
- ・カイルアビーチ
- ・ハワイ出雲大社
- ・ワイキキビーチ

#### 10. 持参した現金の金額とカードで使用した金額

【現金】 2万円                      【カード】 7万 5000円





決済方法はカードをお勧めする。

## 11. 費用について

合計：【約 50 万円】

航空券：約 12 万円（ハワイアン航空/直通）

プログラム費用：約 12 万円

渡航前準備費用（お土産、日用品、ポケット Wi-Fi 等）：2 万円

ホームステイ費用：約 14 万円

現地での買い物費用：約 7 万円

現地での交通費：約 7 千円

その他：約 3 万円



## 12. その他アドバイス

バスの遅延が多く、また悪天候により家を出た後に急に課外活動が無くなることもある。連絡がこまめにくるので、Wi-Fi や海外 SIM カードを持参することを勧める。そのほか海に入る際は、所によっては波が激しく怪我をするエリアが存在するため、有名な場所以外で迂闊に入るのは避けた方が良い。また、ワイキキなどの市街地にもホームレスの人が多かったり、日本ほど治安が良いとは言えないので、観光の際は数人で行動した方が良いように感じた。



### 【新型コロナウイルスを受けて】

コロナによって、課外活動や修了式に影響が及んだり、帰国も無事にできるのかと何かと心配することが多かった 3 週間であった。観光においても十分に楽しめたとは言えなかった。しかし目的は留学であり、授業を全て受けることができたのは本当に幸運であったように思う。また、日本人の住人や観光客がもともと多いこともあってか、入国前に既に日本国内で感染者がでていたにもかかわらず、現地の人から差別等されることは一切なかった。留学を無事に終了できたのも、大学のスタッフの方々や、ホストファミリー、様々な人々のおかげだと改めて思う。コロナの有無にかかわらず、ハワイの人々は親日家が多いように感じた。またハワイとはいえ、夜間など治安のあまりよくない地域とかはあるものの、日中であれば安心して生活を送ることができた。留学、観光共に充実させたい人にとってはぴったりの留学先であるように思う。

